

¥0

Free

No.7
2014 年秋号

戦国、天霧城の攻防

善通寺から
みえる世界遺産

散策 善通寺

ふる里の風景を歩く



空海の里を
再発見する

特集

中世の
古城跡を巡る

必携の
散策ガイド

善通寺を照らす天の光



弘田川

金倉川

天霧山

弥谷寺

金蔵寺

榎湧 (永井の湧水)

古城コース

甲山寺

曼荼羅寺

鷺井神社

下湧

筆の山

ひょうたん池

香色山

出釈迦寺

市民集いの丘公園

善通寺駅

我拝師山

旧偕行社

禅定寺

善通寺

四国学院大学

二頭湧

赤レンガ

金毘羅燈籠

王墓山古墳

大麻山

宮が尾古墳

野田院古墳

葵の瀧

龍王社

琴平駅

金刀比羅宮

琴平山 (象頭山)

善通寺市散策マップ

五岳山

天霧山

● 天霧城跡（香川軍）

● 善通寺（三好軍） 甲山城跡

善通寺と天霧山（飯野山より）

中世、関東武者が支配した善通寺市

空海の里の北に、採石で大きく削られた天霧山が望めます。ここには、南北朝時代に細川氏（室町幕府の管領）に従軍した関東武者、香川氏の詰めの城がありました。香川氏は、讃岐国の守護だった細川氏の守護代として西讃岐を統治しました。戦国時代、讃岐に侵攻した阿波の三好氏と争い（善通寺合戦）、三好軍が善通寺に陣を構えたため、善通寺の伽藍が全焼したといわれます。伽藍は江戸時代以降に再建されました。

中世の古城跡を巡る

古城コース

中世の善通寺市には、武士の館^{やかた}や山城（天霧城）が築られました。戦国時代、天霧城の香川氏を攻めるために善通寺に陣をおいた阿波の三好軍と戦った天霧城の出城^{でじろ}、甲山城跡を訪れます。

コース
紹介

強者どもの夢の跡を感じる

古城コースの所要時間：2時間～3時間

総本山善通寺

仲村城跡

木熊野神社

甲山寺

甲山城跡

総本山善通寺

古城コース

武士の館と城



土塁跡



影政神社

①- 1 仲村城跡

平安時代より続く鎌倉時代の館跡。二町（109m）四方の濠と土塁で囲まれた平城でしたが、戦国時代に甲山城が築かれると廃城になりました。後三年の役で片目を射られても奮闘した、天霧城主香川氏の祖、鎌倉景政を祀る神社があります。



武士の館

①- 2 内湧（うちゆ仲村城堀跡）

仲村城の濠には出水（湧水）が湧き、影政神社の脇を流れます。鎌倉時代の武士の館を囲む濠は、防備ではなく、農業用水でした。仲村城では、この湧水を利用して館の濠がつけられました。



③甲山寺

④甲山城跡

甲山

筆の山



②木熊野神社

明治の神仏分離令までは、熊野権現と呼ばれました。社前の湧水で祭具を洗い、身を清めた男たちが、玄米を御神体とする神輿を担ぐ神事が伝わります。



③甲山寺鐘楼

甲山の麓には空海ゆかりの甲山寺があります。甲山寺の鐘楼脇の登山口を登ると、途中で甲山城の郭跡（現在は園地）を過ぎ、山頂に出ます。



かぶとやま 甲山

天霧城の出城だった甲山城は小さいながら、戦国の山城の様相を示しています。主郭を置いた甲山の山頂の周りに、いくつかの腰郭を配し、郭には櫓や兵を置いたといわれます（丸内はイメージ）。



④甲山城跡（山頂）

山頂には、主郭のあった削平地があります。善通寺合戦では、最寄りの出城として三好軍と交戦し、城主の朝比奈弥太郎が討ち死にしました。



連郭跡



備中松山城

堀切（空堀）跡

あまぎりやま 天霧山再発見

戦国、天霧城の攻防 善通寺合戦

天然の要害と防備

戦国の山城は、敵に攻め込まれた際に籠城ろうじょうして戦うための城です。鎌倉時代末期に、楠木正成が赤坂千早城に籠って幕府の大軍を退けたことが知れ渡り、各地の有力武将はこぞって山城を築城しました。

山城は、籠城戦に備えて敵の攻撃を受けにくくする構造や水ひょうろうと兵糧を確保する場を備えていました。主郭（本丸）は、敵の攻撃を受けにくい両側が急崖になった山の尾根に築かれました。通路となる大手の尾筋には、建物や兵を配したた郭を連ねて（連郭れんかく）、敵の侵攻に備えました。また、郭と郭の間に切堀きりほり（空堀からほり）を設けて、堀に架

かる橋を落として敵の侵入を妨げる防備としました（写真参照、丸内は備中松山城にみるイメージ）。こうした構造に加えて、天霧城は表口の大手の緩やかな尾根に対して、裏口であるからめて搦手には急峻な坂道を備え、敵を寄せつけない構造になっています。籠城に必要な水は、本丸の裏手の井戸と搦手先の池窪の井戸いやだに、弥谷寺の井戸などから調達できました。





備中松山城



善通寺から望む天霧山、右端が甲山（三好軍）

天霧山から望む甲山（香川軍）

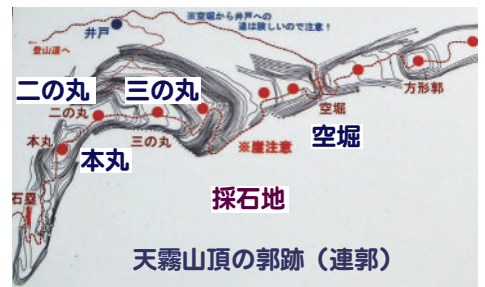
室町時代に細川四天王と呼ばれた讃岐の四武将の居城の中でも、天霧城が最も堅固な城であることは、阿波の三好軍に対して落城しなかったことで証明されました。天霧山は、ありふれた里山の一つと思われがちですが、香川県が誇れる天然の要害（砦）の風景だったのです。

三好軍の布陣と善通寺炎上

応仁の乱後、幕府管領の細川氏の弱体化に乗じて、阿波国では三好氏が細川氏に取って代わりました。三好氏は讃岐の十河氏と姻戚関係を結んで、讃岐を攻略しようとしました。西讃岐の守護代だった香川氏はこれを拒んだため、1558年三好氏はその報復として西讃岐に侵攻しました。寡兵だった香川軍が天霧城に籠城し、三好軍は善通寺に陣を張って攻めるといふ攻城戦になりました（善通寺合戦）。

三好軍が善通寺に陣をおいた理由ははっきりしませんが、追い込まれた敵兵の戦意を喪失させる戦法をとったと想像されま
す。簡単に落とせる城でないことを察知した三好氏は、古来より人々が信仰してきた善通寺を占拠し、天霧城に籠る兵士が眼下に見る出城を落とし、さらに大軍が取り囲んでいることを見せつけることで籠城兵を威嚇したのでしょうか。

この戦闘で善通寺伽藍は全焼し、金堂が再建されたのは17世紀末の元禄時代でした。



善通寺からみえる

世界遺産

グウィネズのエドワード 1 世の城郭と市壁

城壁

防御の要



カーナボン城の城壁(世界遺産)



ビューマリス城の二重城壁(世界遺産)



ロチェスター城の崩された城壁

世界遺産になった城壁

イギリスのウェールズ北部に、イングランド王のエドワード 1 世が 13 世紀に建造した 8 つの城塞跡があります。中でもカーナボン城は、北ウェールズを統治するための城塞都市でした。鎮圧されたウェールズ人の激しい反抗が予想されたため、城壁はエドワード 1 世が十字軍の遠征先で見たコンスタンチノーブルの城壁を模した巨大なものにされました。

カーナボン城は、建設中に一度ウェールズ軍に占拠されましたが、奪還後完成すると、15 世紀のウェールズ軍の包囲の際には、わずか 30 名の兵士で退けました。

ウェールズ征服の歴史を刻むカーナボン城は、二重の城壁をもつビューマリス城など他の三つの中世古城とともに、歴史上重要な時代を例証する建築物群として 1986 年に世界遺産に登録されました。

かつて西讃岐を支配した天霧城は、巨大な城壁を備えていませんが、強者どもが見た夢の拠点として大切にしたい風景です。



投石機と大型クロスボー

防御の壁が世界遺産？

フランスのロワール渓谷などにみられるように、宮殿にされた美しい城が世界遺産に登録された例は少なくありませんが、実際に攻城戦が行なわれた防御の壁が世界遺産になったものもあります。



ビューマリス城の城門櫓



丸亀城の枅形



城壁にされた急崖（天霧城搦手）

犬返しの険地

攻城戦

石製城壁によって堅固に守られたヨーロッパの城の攻略には、城壁を倒す戦法が考案されました。南英やフランスの柔らかい石灰岩（白亜）の大地では、城壁の下に坑道を掘り、仕上げに豚の脂で坑道の支柱を燃やし、城壁をその重みによって倒壊させました。これはロンドン近郊のロチェスター城やドーバー城などで行なわれました。

一方、火山性の硬い岩石が多い日本では、石の切出しが難しく、石製城壁は造られませんでした。中世の日本の城は、城壁ではなく、急峻な山の崖と巧みな郭の配置によって守られました。

戦う城の強化と無力化

城壁や急崖で堅固に守られた城も、その城門は最も弱く、そのため様々な工夫が施されました。城門から侵入した敵を閉じ込めて、周囲から射的する仕掛けもその一つで、日本では枅形からめてと呼ばれます。

こうした城壁も、大型の武器（投石機や大型クロスボーなど）の前には無力になり、イギリスの王や諸侯は中世の城から宮殿やカントリーハウスへ住居を移しました。

天下統一後の日本では、戦国の山城は大きな権力の前には無力となり、戦国時代を勝ち抜いた武将は、権威を象徴する壮麗な統治の城を平地に築城しました（丸亀城）。

武将の居館の庭

戦国の山城の麓には、城主が平時に居住する館があり、一族郎党結束の寄合を行なう会所の前には枯山水などの日本庭園がありました。厳しい表情の枯山水を前にして喫茶をたしなむ武士特有の文化活動の場だったようです。

明治時代に軍都になった善通寺には、将校の集う偕行社がありました。偕行社の前の庭園にもそんな意味があったのでしょうか。



偕行社前庭



カフェ

旧偕行社のカフェ

最近、偕行社の一部が改築され、おしゃれなカフェが登場しました。現代の喫茶は、訪れた人々が心和むものになりました。

季節がめぐる街の公園

庭園、ひとくちメモ（8）

中世ヨーロッパの庭園は修道院などに造られました。高い城壁に囲まれた城塞の中でも、女性たちの手によって小さな庭が造られました。イギリスのハンプシャーのウィンチェスター城には、エルノア女王の小さな庭園が復元されています。宗教的な理由から、色づく花はなく、ヒイラギやツタなどの花の目立たない植物が城壁や小さなパティオに植えられました。ヨーロッパの豪華な庭園は、ルネッサンスの勃興まで待たねばなりませんでした。



ウィンチェスター城 エルノア女王の庭園

エルノア女王は、現王室につながるノルマン王の王妃で、王はエドワード1世ともヘンリー3世とも言われます。旧都だった中世のウィンチェスターは、王室との結びつきが強い街でした。

比べてウォッチ！



大手



搦手



丸亀城大手



丸亀城搦手

大手と搦手からめ

城の通路には、主郭（本丸）へ通じる正面の大手と背面の搦手があります。天霧城の大手は、香川氏の居館のある多度津に向かう緩やかな傾斜の尾根にあります。一方、搦手は犬をも寄せつけない犬返しの急崖で守られています。城が権威の象徴になった近世城郭の大手には、荘厳かつ厳重な防備のある大手門が置かれました。他方、搦手には小型で簡素な門がおかれ、城主が城外に逃げられる構造でした。

風景をたのしむまめ知識



備中高松城（平城）

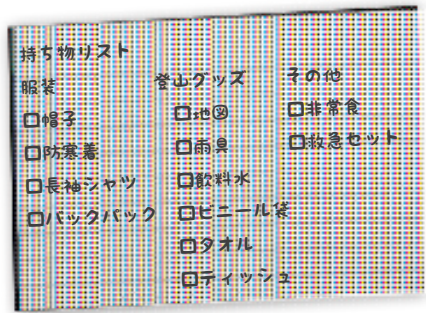


韮城（左、平山城）と大可島城（右、水城）

崖のない戦国の城？

戦国時代の城は、その防衛上の必要性から山城が中心でしたが、河畔の湿地には平城が築城されました。平城は、湿地の高台に主郭をおき、周囲を何重もの深田ふかたで囲んだ城で、侵攻する敵兵は深田のぬかるみに足を取られ、射的的的になりました。この平城を攻略するために、豊臣秀吉は水攻めという奇策をとりました（備中高松城）。

水城は海や湖の畔に造られた城ですが、防衛の城というより、水軍の本拠地としての性格が強い城でした（韮城とろの大可島城）。



登山の心得

- ・履きなれたシューズで出かけよう。
- ・自分のペースでゆっくり歩こう。
- ・防寒対策も忘れずに！
- ・車には十分注意しよう。
- ・ゴミは必ず持ち帰ろう。
- ・ペットの糞対策も忘れずに！



アクセス



バック・ナンバーは左のHP「散策 善通寺」より閲覧できます。

<http://shigakuweb.jindo.com>

制作・お問い合わせ

四国学院大学

四学ウェブ

(shigakuweb@yahoo.co.jp)

制作協力

善通寺市役所土木都市計画課

(Tel. 63-6314)

参考文献

みちへや遍路 2001

